

お湯が出ない！

給湯設備はガス給湯器と電気温水器の方式があります。

ガス給湯器の場合、まず開栓手続きが必要です。大阪ガスに依頼しお客様立会いの下、ガスを使える状態にして下さい。また給湯器内部には点火装置があるので電気も必要です。水道が止まっている場合も給湯は出来ません。

電気温水器の場合、使用開始を関西電力に連絡して下さい。一般的に電気温水器に使用する電気は200ボルトです。室内の照明が点灯しても温水器に使用する電力は閉鎖されています。また温水器は深夜電力でしか沸かさないタイプもあります。その場合ご使用になる一日前には使用開始の連絡し通電させる必要がありますのでご注意ください。

●ガス給湯器の場合

電源が入っているか？

リモコンがある場合はリモコンの表示灯が点灯しているか、またリモコンがない場合は給湯器本体の電気コードがコンセントから抜けていないか確認してください。

(一部の機種は電池の場合もあります。電池交換してみてください。)

水は出ますか？

室外にある水道メーターの両側にあるバルブ(赤と青の場合が多いです)が両方とも「ひらく」(最も上に上がっている)になっているか確認して、部屋うちの蛇口から水出るようにしてください。

水道蛇口の「湯」のほうを回したときに「水」も出ない場合は、ガス給湯器本体に接続されている給水管のバルブが「止まる」になっているかもしれません。

キッチンや洗面化粧台の場合、下部物入内に止水バルブが付いています(稀にない場合もあります)ので、そこも確認してください。但しハンドルは付いてないのが普通です。マイナスドライバー等で回してください。

エラーコードが表示されているか？

リモコンがある場合、アルファベットと数字などが点滅する場合があります。その表示内容と本体メーカー、品番をご連絡下さい。

マイコンリセットの方法

エラー表示がある場合、修理または交換することになります。お客様のご都合に合わせて出来るだけ早くご訪問致しますが、それまでの期間マイコンリセットすることにより仮復旧する場合があります。

給湯器本体の電気プラグをコンセントから抜き約 1 分程度停電させます。本体の電気がなくなりマイコンのデータを消去され、一時的に使用可能となる場合があります。(故障個所が直ったわけではないので修理依頼はしてください)

ガス給湯器使用上の注意

機器の周囲や排気口のそばに燃えやすいものを置かないでください。

機器の周囲で揮発性の薬品などを使用しないでください。

排気口近くには、危険物・植木・その他加熱すると困るものは置かないでください。

排気口をふさがないでください。

停電中は使用できません。再通電してから操作してください。

排気口が洗濯物などでおおわれないようにしてください。

●電気温水器の場合

通電しているか？

一般的に電気温水器に使用する電気は200Vなので申込が2種類必要です。通常100Vの電気が通電していても200Vは閉鎖されています。使用開始を関西電力に連絡して、その後ブレーカー(200V用)を「入」にしてください。

このブレーカーは100Vの分電盤とは別に設置されています。室内または室外パイプスペース内にある電気メーター付近をご確認ください。

深夜電力使用契約の場合

オール電化物件などの深夜電力時間帯にしか沸かさない温水器(電気給湯器)タイプの場合は、お湯を作るのに準備が必要です。入居する日が決まりましたら、前日までに関西電力に申し込みをし、ブレーカーを入れておいてください。

使用方法

温水器本体の液晶パネル表示が消えていても、通電し充電されれば点灯します。

時間設定や温度設定を行ってください。

温水器タンク内の湯量には限りがあり、全部使い切ると翌日まで水しか使えないなる機種もあります。そうならないためには温度設定を最高にし、使用する際水と混合させ適温にしてご使用ください。

使用前に必ずメーカーの取扱説明書をご覧ください。